

- 大滝末男、1974. ウキクサの仲間. 遺伝 28 : 50-54.
 ———・石戸 忠、1980. 日本水生植物図鑑. 北隆館.
 Rejmankova E., 1975a Biology of duckweeds in a pannonian fishpond. Symp. Biol. Hung. 15 : 125-131.
 ———、1975b. Comparison of *Lemna gibba* and *Lemna minor* from the production ecological viewpoint. Aquatic Botany 1 : 423-427.
 斎藤國明、1956. ウキクサ科植物の生活史. 採集と飼育 18 : 206-211.
 佐藤雅志、1979. 水田における浮草の生活史. 農業技術 34:395-399, 438-442.
 嶋田直哉、1991. ハス田のウキクサ. 水草研究会会報 43 : 17.
 瀧本 敦・別府敏夫、1986. ウキクサの分類と生活様式. 遺伝 40 : 4-8.
 時田房恵、1985. ムラサキコウキクサとコウキクサ. 福岡の植物 11 : 113-114.
 東北植物研究会、1991. 上野雄規(編) 北本州産高等植物チェックリスト. 東北植物研究会.
 植村修二、1983. 大阪府堺市におけるウキクサ科植物の分布. 水草研究会会報 11 : 7-9.
 吉村フジ、1947. 浮萍科植物の生理学的研究 I. 生物 2 : 141-148.
 ———、1949. 浮萍科植物の生理学的研究 II. 生物 4 : 8-15.
 ———、1950. 浮萍科植物の生理学的研究 III-IV. 植物学雑誌 63 : 63-69.
 ———、1953. ウキクサ花青素の形成と集合. 採集と飼育 15 : 226-227.

○Peter Johnson & Pat Brook "Wetland Plants in New Zealand" (DSIR Publishing, 1989, 319p.)

ニュージーランドの水湿地に生育する植物500余種を図と簡単な記載でまとめた本である。決して専門書ではないが、よほど複雑な分類群でないかぎり、この本で大半の種が同定できるのではないかと思われる。それほど立派な仕上がりである。冒頭の20ページほどの解説は、ニュージーランドにおける水草や湿生植物の生育環境を知るのにたいへん参考になる。

○K.R.Naskar "Aquatic & Semi-aquatic Plants of the Lower Ganga Delta" (Daya Publishing House, 1990, 408p.)

インド西ベンガル地方のガンガ・デルタ地域の水草を解説したものである。はじめの80ページほどは、水草の生態や雑草問題についての全般的な解説になっているが、内容は中途半端な感じがする。後半は種の説明になっていて、シノニミックリストのあと、形態の記載、生態ノート、分布、経済的重要性などが記述されている。ムジナモが路傍の水路や水田に普通にあって問題雑草とされていることには驚いた。始めはこの記載を疑ったが、よく考えてみれば、この本が取り上げられているデルタ地域

はかつて日本でもムジナモが産した地域の環境と共通する。人為的な環境汚染が進んでいないのであれば不思議なことではない。

○Brijji Gopal (ed.) "Ecology and Management of Aquatic Vegetation in the Indian Subcontinent" (Kluwer Academic Pub, 1990, 257p.)

インドにおいて水生植物の研究がどこまで進んでいるか、そして、インドにおいてはどのようなことが研究課題としてあるのか、現状を集大成した出版物といえるだろう。執筆者はインドの水草研究の第一線で活躍する研究者であり、その原稿に国際的にも著名な編者がさらに手をいれてレベルの維持がはかられている。次の4節に計12編の論文が集録されている。

1. Diversity of aquatic habitats and their vegetation
1. Ecology of aquatic vegetation
3. Role of aquatic vegetation in ecosystem functioning
4. Management of aquatic vegetation

(角野康郎)